

令和7年 第3回 大仙市議会定例会

市 政 報 告

令和7年8月22日

大仙市長 老 松 博 行

令和7年第3回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、水不足による渇水被害についてであります。

東北地方を覆う高気圧の影響により梅雨前線の活動が弱く、6月から7月にかけて県内は記録的な猛暑となっており、複数の地点で月の平均気温が過去最高を更新したほか、観測開始以来、最少の降水量を記録するなど、各地で高温や渇水による被害が生じております。本市におきましても、幸いにして給水への支障は生じなかったものの、取水元の水量が低下傾向にあったことから、節水を呼びかけたほか、コメをはじめとする農作物への影響が懸念されております。

8月に入ってからは一転して雨雲が広がり、まさに恵みの雨となる一方で、たびたび大雨警報が発表されるなど、断続的に激しい雨に見舞われております。市では、変化する状況にあわせて災害警戒対策室を設置し、河川の増水や土砂災害などの情報収集と警戒に当たるとともに、交通規制や自主避難所の開設に加え、災害リスクに応じて避難指示を発令するなど、早め早めの対応に努めているところであります。

これからの季節は、台風や秋雨前線による大雨が予想されることから、市民の皆様におかれましては、ハザードマップや避難経路など、「災害への備え」を今一度点検いただきますようお願いいたします。

次に、ツキノワグマの出没についてであります。

春先からツキノワグマの出没が相次いで確認されており、8月19日現在、昨年同時期と比較し、約3倍となる273件の目撃情報が寄せられております。県内においては、既に人身被害が複数件発生しているほか、目撃件数が例年を大幅に上回っており、県の「ツキノワグマ出沒警報」が9月末まで延長されるなど、予断を許さない状況にあります。さらに、今秋はブナの実が不作との情報もあり、秋が深まるにつれて行動範囲が拡大し、遭遇リスクが高まることが懸念されております。

この9月には、一定の条件のもと、市街地での緊急銃^{じゅうりょう}猟を可能とする「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」の改正法が施行されることとなっており、緊急銃猟の判断基準や具体的な手順などをまとめた国のガイドラインが公表されたほか、県の対応指針が策定されております。これを受け、市では、猟友会や警察と連携しながら、実施体制の整備と対応の準備を進めているところであり、基本的対策の一つである誘引樹木の伐採に係る補助金とあわせ、今次定例会に関連する予算の補正をお願いしております。

市といたしましては、引き続き関係する団体や機関と緊密に連携を図りながら、出沒情報の迅速な発信や注意喚起に努めるとともに、法令等に基づき、緊急銃猟制度の厳格、かつ適正な運用のもと、有事の際には、市民の皆様の安全を最優先に、適切に対応してまいります。

市民の皆様におかれましては、時間や場所を選ばず、誰もがクマと遭遇するリスクがあることを念頭に、これまで以上に基本的な対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

次に、花火産業構想についてであります。

インバウンドの拡大や「大曲の花火」の海外展開に向けた取組の一環として、6月28日に開かれた「大阪・関西万博」の関連イベント「JAPAN FIREWORKS EXPO」において、大曲の花火協同組合が「大曲の花火」の魅力を5分間に詰め込んだ特別花火を打ち上げております。

当日は、これまでで最多となる約20万人の来場者にご観覧いただき、大きな歓声をいただいたほか、SNSで広く取り上げられるなど、国内外に向けて「大曲の花火」の創造性や、高い技術力を大いに発信することができたものと捉えております。今後も、本市を代表する地域資源として、市民の皆様とその価値を共有しながら、日本の花火を世界に発信し続け、花火産業基盤の確立につなげてまいります。

次に、「第31回世界少年野球大会 秋田大会」についてであります。

一般財団法人世界少年野球推進財団、秋田県並びに公益財団法人日本野球連盟との共催により、7月30日から9日間の日程で、「ふれあいスポーツランドソラーレ」を主会場に開催しております。今大会

には、日本を含む12の国と地域から訪れた95人の子どもたちをはじめ、コーチや引率者、スタッフ、関係者など、国内外から500人を超える皆様が参加し、野球教室や国際交流試合、地域文化を体験する交流行事のほか、特別記念花火の打ち上げなどを行っております。

大会期間中は、「野球」を通じて子どもたちが大きく成長し、国や地域を越えて友情を育む姿を間近に拝見したところであり、まさに「野球を正しく世界に普及・発展させるとともに、子どもたちの国際的な友情と親善を深める」とした、大会の趣旨に大いに資するものであったと確信しているところでもあります。

同財団の理事長である王 貞治 氏からは、過分な労いの言葉をいただいたところであり、「花火と野球のまち 大仙市」ならではのおもてなしと大会運営を評価いただいたものと受け止めております。これも、ご協賛いただいた企業の皆様、大会運営にご尽力をいただいた関係者の皆様、そして、大会開催にご理解とご協力をいただきました市民の皆様のおかげであり、心から感謝を申し上げたいと存じます。

大仙市での思い出と様々な感情を胸に、それぞれの帰路に就いた子どもたちが、未来に向けて大きく羽ばたかれることを心から期待するとともに、今大会で得た経験や学びをレガシーとして引き継ぎ、国際交流やインバウンド観光、多文化共生の推進につなげてまいりたいと考えております。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

旧中仙公民館清水分館につきましては、本市では初となる「建物解体条件付き一般競争入札」、いわゆるマイナス入札を実施したところであり、今次定例会に財産の譲与に係る単行案を上程しております。

本手法は、建物の解体と土地の利活用を条件に、解体撤去に係る負担金を付して土地を無償譲渡するもので、財政負担の軽減に加え、民間活力による遊休資産の早期活用が期待できるものであります。「大仙市公共施設等総合管理計画」の推進にあたり、その実効性を高める有効な手立ての一つであると捉えており、他の遊休施設への展開を進めつつ、引き続き効率的かつ効果的な手法を調査・研究しながら、公的不動産の戦略的マネジメントに努めてまいります。

次に、市民部関係についてであります。

地球温暖化対策につきましては、日鉄ソリューションズ株式会社との共催により、7月22日、「花火伝統文化継承資料館 はなび・アム」を会場に、環境学習講座「親子でめざせ！カーボンニュートラル」を開催しております。当日は、市内の14組の親子が参加し、大仙市専用プログラミングされた「CO₂排出シミュレーター」を活用しながら、地球温暖化への理解を深めるとともに、脱炭素社会に向けた日常的な取組を

学んでおり、未来のため、一人ひとりが何をすべきか考え、行動するきっかけになったものと考えております。

食品ロス対策につきましては、9月の運用開始に向け、フードシェアリングサービス「だいせんタベスケ」の協力店と、利用者の登録を受け付けているところであり、8月20日現在、21の協力店と514人の皆様にご登録いただいております。このサービスは、消費期限が近づいた食品を売り切りたい店舗側と、手頃に商品を購入したい消費者側のニーズをマッチングすることで、廃棄物の減量に向けた意識啓発を図りつつ、食品ロスの削減を推進するものであり、より多くの市民や事業者の皆様に関心をもっていただけるよう、引き続きSNSやホームページを通じた情報発信、さらには店舗への直接訪問などにより参加を呼びかけてまいります。

次に、健康福祉部関係についてであります。

熱中症対策につきましては、広報やホームページを通じた予防啓発に加え、民間施設にもご協力いただきながらクーリングシェルターを開設するなど、対策に当たっておりますが、今般、対策のさらなる強化を図るため、経済的な理由によりエアコンを設置されていない方などに対し、購入費の一部を支援したいと考えており、今次定例会に関連する予算の補正を上程し、本会議初日での議決をお願いしております。

次に、こども未来部関係についてであります。

屋内遊び場施設整備事業につきましては、「DBO 方式」により事業者を公募し、審査を経て、8月5日付けで優先交渉権者と基本協定を締結しております。現在、設計と施工を一括した仮契約の締結に向けて手続きを進めており、準備が整い次第、今次定例会に契約締結に係る単行案を追加提案する予定であります。

いよいよ本格的な整備に着手することとなりますが、「DBO 方式」のメリットである運営段階を見越した民間事業者のノウハウや、創意工夫を活かしながら、子どもや子育て当事者の目線に立った「遊び」と「学び」、「交流」の拠点となるよう、整備を進めてまいります。

次に、農林部関係についてであります。

担い手の確保・育成につきましては、8月19日、クボタグループのご協力のもと、西仙北地域において、新規就農者や女性農業者、大根生産者等を対象とした大根播種^{はしゅ}トラクター研修会を開催しており、関係者を含め25人が参加しております。

畜産振興につきましては、7月2日、笹倉公園を会場に「第19回大仙・仙北・美郷畜産共進会」が開催されており、大曲農業高等学校が飼養した肉用牛1頭を出品し、「優等賞」に次ぐ「1等賞」を獲得しております。昨年に続いての上位入賞は、2年後に北海道で開催される

「第13回全国和牛能力共進会」への出品に向け、さらに自信を深めるとともに、大きな弾みになったものと捉えており、県や関係団体と連携を図りながら、引き続き挑戦を後押ししてまいります。

次に、経済産業部関係についてであります。

雇用・就業対策につきましては、秋田労働局をはじめとする関係機関との共催により、7月7日、「仙北地域求人説明会」を開催しており、ハローワーク大曲と角館管内の企業35社が出展し、市内の高校3年生124人が参加しております。また、7月16日には、仙北地域振興局との連携により、大曲西中学校を会場に企業説明会を開催しており、企業9社が出展し、33人の中学生が参加しております。

引き続き関係機関と連携を図りながら、様々な機会を通じて地元企業の魅力発信に取り組むとともに、地元就職を希望する若者へのきめ細やかなサポートにより、定着を促進してまいります。

昨今の急激な米価高騰の影響を受け、厳しい経営状況にある酒造業者及び味噌・醤油製造業者への支援につきましては、令和7年産原料米の仕入高騰分を対象に支援したいと考えており、今次定例会に予算の補正を上程し、本会議初日での議決をお願いしております。

企業誘致につきましては、6月18日、ペットボトル飲料用の原料や、穀物パウダーなどの食品素材の製造を手がける「京都グレインシス

テム株式会社」と立地協定を締結しております。同社は、新たな研究・製造拠点として、来年４月に旧太田学校給食センターでの操業を予定しており、これにあわせ、電気設備の改修事業を進めてきたところですが、今般、実施設計が完了したことから、今次定例会に改修工事に係る予算の補正をお願いしております。

農業を基幹とする本市において、農林水産物の付加価値を高める技術と実績を有する同社の立地は「稼げる持続可能なだいせん農業モデル」の確立に資するものと大いに期待しているところであり、今後も、地域資源の高付加価値化により稼ぐ力を高め、さらには産業クラスターの形成にも資する、こうした企業の誘致を積極的に推進してまいります。

次に、観光文化スポーツ部関係についてであります。

観光振興につきましては、インバウンド観光事業として、市内の観光関連施設を対象に、海外からの旅行客目線で受入環境に関する調査を実施しております。この結果を受け、観光に関わる事業者等を対象としたセミナーも開催しており、調査の対象となった各施設の魅力や改善点など、具体的な評価と提案をいただいております。

また、市内観光コンテンツの魅力をより効果的に発信し、観光誘客の拡大につなげることを目的に、新たに「だいせん観光PRサポーター」を設置しております。その第一弾として、８月１日付けで、市内在住の

3名の皆様をサポートに委嘱したところであり、それぞれがもつ人脈や発信力を活かしながら、本市の魅力を全国に届けていただくことを大いに期待しております。

次に、建設部関係についてであります。

「雄物川改修整備促進期成同盟会」、「国道13号大曲・秋田間整備促進期成同盟会」並びに「高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会」につきましては、近隣自治体の同盟会とともに、6月12日から7月25日までの間、秋田県選出国會議員、内閣官房、国土交通省、財務省、秋田県などに対し、集中的に要望活動を行っております。今後も、重要な社会基盤である道路や河川の機能向上が早期に図られるよう、関係自治体と連携しながら要望活動を積極的に展開してまいります。

次に、教育委員会事務局関係についてであります。

学校給食費の無償化につきましては、国の議論に先駆け、4月から、教育費の負担が大きい中学校を対象に実施しておりますが、長引く物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援をさらに強化するため、地方創生臨時交付金が活用できるこの機会を捉え、この10月から小学校にも拡大し、完全無償化を実現したいと考えており、今次定例会に関連する予算の補正をお願いしております。

学校再編につきましては、「第二次大仙市学校規模適正化推進計画」の個別計画として、統合の方向性を示した東部3地域において、6月24日から3日間の日程で説明会を開催しております。

今後は、東部3地域それぞれに検討委員会を立ち上げることとしており、今を生きる子ども達はもちろん、これから誕生する子ども達にとってより良い育ちと学びの環境を最優先に、将来を見据えた総合的な視点から、成案化に向けた協議をお願いすることとしております。

最後に、令和6年度の決算及び財政状況について申し上げます。

令和6年度決算につきましては、歳入において当初の見込みを上回る市税収入や、普通交付税の追加配分があったことに加え、歳出では、電気料をはじめとした施設運営費が縮減されたことなどにより、普通会計の実質収支は21億8,414万4千円の黒字となっております。

国民健康保険事業特別会計をはじめとする各特別会計の決算につきましては、全ての会計において実質収支がゼロまたは黒字となっており、市立大曲病院事業会計など4つの企業会計の決算における収益的収支は、いずれも黒字となっております。

主な財政指標につきましては、速報値ではありますが、実質公債費比率は、元利償還金の減少等により単年度比率が10.6%に改善しており、3か年の平均値でも、前年度比0.1ポイント減の11.3%を

見込んでおります。また、将来負担比率については、全会計の市債残高が減少していることに加え、財政調整基金や減債基金、特定目的基金の積み増しにより、前年度から1.9ポイント改善し、70.5%となる見込みであります。

今後の財政見通しにつきましては、人口減少などにより財政構造のさらなる硬直化が懸念される中、社会保障費をはじめとした義務的経費や利払い費の増加、学校再編事業などの大型事業などにより歳出の増大が見込まれております。加えて、激甚化・頻発化する自然災害をはじめ、今後起こり得る有事に迅速に対応するため、一定の財政余力を確保し、「財政の強靱化」を進めることも重要な課題となっております。

こうした見通しのもと、限りある行財政資源を全体最適の視点から効率的に配分し、複雑化・多様化する行政課題に適切に対応しながら、質が高く、持続可能な行財政運営に努めてまいります。

以上、諸般の状況をご報告申し上げましたが、今後とも、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、市政の報告とさせていただきます。

別添

令和 7 年第 3 回大仙市議会定例会

市政報告（諸般の報告）

令和 7 年 8 月 2 2 日

大 仙 市

目 次

【農林部】

- 1 大豆産地化推進事業について 1
- 2 水稲の生育状況について 1
- 3 市の花「コスモス」の普及促進事業について 1

【経済産業部】

- 4 企業誘致対策について 1

【観光文化スポーツ部】

- 5 友好交流都市との交流事業について 1
- 6 各地域の夏まつり行事について 2
- 7 全国500歳野球大会について 2

【建設部】

- 8 国・県との事業調整会議について 2

【教育委員会事務局】

- 9 「大仙ふるさと博士育成」事業について 2
- 10 大仙市ふるさと探訪楽園ツアーについて 3
- 11 大仙市二十歳を祝う会について 3
- 12 Music Festival in DAISEN 大音郷 2025 について 3
- 13 海上自衛隊 東京音楽隊コンサートについて 3

【上下水道局】

- 14 上水道事業について 4
- 15 簡易水道事業について 4
- 16 下水道事業について 4

【経済対策】

- 17 物価高騰対策 6月定例会 4

【農林部】

1 大豆産地化推進事業について

大豆産地化推進事業につきましては、生産技術の高位平準化を目的に、8月7日、西仙北地域において現地検討会を開催しております。当日は大豆生産者のほか、農研機構東北農業研究センターをはじめ、国や県、クボタグループなどの関係者が参加し、収量・品質の向上に向けた栽培技術について理解を深めております。

2 水稻の生育状況について

水稻の生育状況につきましては、田植え後、天候に恵まれたこともあり概ね順調に生育しており、出穂期は平年より2日早い7月31日となっております。

その一方で、6月から7月にかけての記録的な高温少雨の影響が懸念されることに加え、予報では、今後も気温の高い日が続くものと見込まれていることから、引き続き県やJA等関係機関と連携を図りながら、適切な栽培管理を呼びかけてまいります。

3 市の花「コスモス」の普及促進事業について

市の花「コスモス」の普及促進事業につきましては、8月21日と22日の両日、大仙市緑化推進委員会が、活動の一環として市内の小・中学校や公共施設など、71施設に193個のコスモスプランターを配布したほか、要望があった8小学校にはコスモスの種子を提供しております。

【経済産業部】

4 企業誘致対策について

企業誘致対策につきましては、7月15日と28日の両日、秋田県企業誘致推進協議会が主催する「あきたリッチセミナー in TOKYO」と「東海・関西地区企業懇談会」にそれぞれ参加し、首都圏等の企業に対して本市の充実した支援制度やアクセス性等をPRしております。

【観光文化スポーツ部】

5 友好交流都市との交流事業について

友好交流都市との交流事業につきましては、8月9日から1泊2日の日程で、本市の子育て世帯24組80名が友好交流都市である岩手県宮古市が主催する「『本州最東端・宮古の海』大仙市民招待事業」

に参加し、地引き網体験や遊覧船クルーズ等を楽しんだほか、今春オープンした宮古市災害資料伝承館を訪問し、防災意識を深めております。

6 各地域の夏まつり行事について

各地域や地区において、特色豊かな夏まつり行事が次のとおり開催されております。

- 8月 3日 第15回太田の夏まつり（太田地域）
- 8月14日 角間川盆踊り（大曲地域）
- 8月15日 まつり彩夏せんぼく2025（仙北地域）
- 8月15日 第38回ふるさと西仙まつり（西仙北地域）
- 8月16日 第9回南外盆踊り（南外地域）
- 8月16日 第41回ドンパン祭り（中仙地域）

7 全国500歳野球大会について

親父たちの甲子園「第7回全国500歳野球大会」につきましては、県外から過去最多となる28チームをお迎えし、県内の6チームとあわせた34チームの参加のもと、7月12日から3日間の日程で開催しております。決勝戦は昨年度と同じ組み合わせとなり、追分野球クラブと、大会3連覇中の岩手県のI・O・F・Cが対戦し、大熱戦の末、I・O・F・Cが4連覇を成し遂げております。

【建設部】

8 国・県との事業調整会議について

国・県との事業調整会議につきましては、秋田県仙北地域振興局建設部との会議を7月10日に、国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所、及び成瀬ダム工事事務所との会議を8月20日に開催し、国や県が管理する道路や河川に関する要望とあわせ、各主体が実施を予定している事業に係る連携・協力事項について協議を行っております。

【教育委員会事務局】

9 「大仙ふるさと博士育成」事業について

今年度で10年目を迎える「大仙ふるさと博士育成」事業につきましては、夏季休業中の特別企画として、小学校3年生から中学校3年生までの児童生徒を対象に、野菜の収穫等を実際に体験する「ふる

さと農業体験DAY」と、日本や世界に誇る実績をもつ市内企業を見学する「ふるさと企業見学DAY」を実施しております。

本企画は、児童生徒や保護者の関心が高く、本年度も多くの参加をいただいております。ふるさとの魅力に触れることで愛着心が高まり、未来を拓く人材の育成につながることを期待しております。

10 大仙市ふるさと探訪楽園ツアーについて

地域資源に対する学習意欲のさらなる向上を目指す「大仙市ふるさと探訪楽園ツアー」につきましては、7月23日に「神岡・西仙北の地元企業訪問ツアー」、7月24日に「きょうわの施設探訪」の2つのコースで実施しております。ふるさとの魅力を再認識するとともに、健幸まちづくりプロジェクトや、ふるさと博士育成事業との連携により、健康づくりや地域への理解を深める機会となっております。

11 大仙市二十歳を祝う会について

大仙市二十歳を祝う会につきましては、今年度内に21歳を迎える皆様を対象に、8月15日、大曲市民会館を会場に開催しております。

当日は509人の出席のもと、大仙市消防団音楽隊のオープニング演奏で幕を開けた式典に続き、実行委員会が考案した参加型のクイズ大会が催されたほか、協和地域在住のシンガーソングライター齊藤真生さんによる弾き語りステージでは、歌を通じて参加者の皆様にエールをいただいております。

12 Music Festival in DAISEN 大音郷 2025 について

本市に縁のある若手アーティストを中心とした音楽文化発信型イベント「Music Festival in DAISEN 大音郷 2025」につきましては、6月22日、大曲市民会館大ホールを会場に開催しております。当日は5組のアーティストが出演し、来場した約350名の皆様にお楽しみいただいております。

13 海上自衛隊 東京音楽隊コンサートについて

大仙市誕生20周年記念アフターイベントの一つである「海上自衛隊 東京音楽隊コンサート」につきましては、7月20日、大曲市民会館を会場に開催しております。当日は約900名の皆様にご来場いただき、吹奏楽の最高峰と称される同音楽隊の珠玉の名曲をお楽しみいただいております。

【上下水道局】

14 上水道事業について

内小友東部地区への配水管布設工事につきましては、6月23日に着手し、工事を進めております。

また、大曲丸の内町における老朽化した配水管の改良工事、及び県の電線共同溝整備に伴う配水管移設工事、並びに西根水管橋の更新に係る詳細設計業務委託につきましては、それぞれ発注を終え、順次着手しております。

15 簡易水道事業について

西仙北地域刈和野地区配水管更新事業につきましては、6月30日に仕切弁設置工事及び配水管改良工事に着手しており、年内の完了を目指し、事業を進めてまいります。

また、同地域の心像・小杉山地区簡易水道事業につきましては、土川杉沢地区における配水管改良工事の発注を終えております。

16 下水道事業について

農業集落排水施設統合事業につきましては、中仙地域の田ノ尻地区農業集落排水施設を秋田湾・雄物川流域下水道へ接続する管路工事のほか、協和地域の水沢地区と稲沢地区において、管路接続工事及びマンホールポンプ施設の機械・電気設備等改修工事の発注を終えております。

【経済対策】

17 物価高騰対策 6月定例会

(1) 社会福祉施設等物価高騰対策支援事業について

物価高騰に伴う社会福祉施設等の食材料費の負担軽減を図るため、施設運営費の一部を助成するもので、8月1日に受付を終え、申請のあった介護保険事業所100事業所、及び障がい福祉サービス事業所20事業所に対し、8月26日に支給する予定となっております。

(2) 定額減税補足給付事業について

令和6年度に実施した定額減税補足給付事業につきましては、令和6年分推計所得をもとに、定額減税可能額が定額減税前の令和6年分推計所得税額、または令和6年度個人住民税所得割額を上回る方に対して、その差額を給付したところでありますが、今般、令和6年分の

所得が確定したことに伴い、差額が生じる方に対して追加で調整給付を実施するものであり、9月初旬に対象者へ通知が届くよう、準備を進めております。